

おむすび通心

第14号
2024年秋

静岡福祉大学

「もっと知ろう

もっと語ろう

認知症」展

皆さん、こんにちは！

私たちは焼津市の**認知症地域支援推進員**です。

毎年9月は世界アルツハイマー月間ですが、日本では認知症基本法施行にあたり、今年から『認知症月間』の名称で統一されることとなりました。

わが街焼津でも、認知症月間に合わせ、様々な啓発のための活動が行われました。

今回のおむすび通心では、市内の図書館に設けられた認知症関連書籍コーナーの様子をお届けします。

また、高麓デイサービスでの取り組みと、長久寺で行われたオンラインDフェスの様子もご紹介いたしますので、ぜひ最後までご覧ください！



認知症月間にあわせ、市内の図書館では特集コーナーを設置!!



(左から)進藤さん、新井教授、地域連携推進センターの新海さん

また、図書課長の進藤さんは「当館では認知症だけでなく、幅広い年代の方々に福祉の心を養っていただけるような図書を取り揃えているので、多くの方にお越しいただきたいです。」と話してくださいました。

認知症をテーマとした図書が特設コーナーで豊富に展示されています。健康福祉学科の新井教授からは「この企画展をきっかけに、認知症のことを多くの人に知ってもらいたいです。」とのメッセージをいただきました。



焼津図書館



大井川図書館

焼津図書館、大井川図書館、ターントクルこども館でも、認知症月間にあわせて書籍の展示コーナーを設けてくださいました。こどもにもわかりやすいような内容の絵本や認知症当事者の書籍、『焼津市発！認知症よわかるた』が展示されていました。実際に手に取って見ている方もいて、認知症に関心をもっていただけていると感じました。認知症について多くの人に知ってもらえる機会となったのではないのでしょうか。

【静岡福祉大学附属図書館】

一般の方ももちろんご利用いただけます！福祉について深く知ってもらえる図書等が豊富に揃っていますのでぜひご利用ください。館内にはキンダーブック(やなせたかし)コーナーや、小泉八雲コーナーも。ともに2025年度NHK朝ドラのモデルです。朝ドラ好きの方もお待ちしております★



問合せ:054-623-7452

【高麗デイサービスでの取り組み紹介】

高麗デイサービス(坂本)の一角で、オレンジ色のフェルトを組み合わせながら裁縫をする方々がおられました。8名程でしょうか。針と糸を使いながら、細かく縫っているデイサービスの利用者さん。「裁縫は好きだよ。」「オレンジ色がかわいいね。」「もらってくれる人が喜んでくれれば、やっている方もうれしい。」「皆さんが楽しそうに、やりがいを感じながら、認知症マスコットキャラクターのロバ隊長のぬいぐるみを作ってくださいっていました。



大きなロバ隊長は縫う部分が多く、パーツを組み合わせながら作っていきます。利用者さん同士で「どうしたら上手くできるかね。」と縫い合わせ部分についての話し合いをしたり、縫い方を教え合ったりしながら、ロバ隊長が出来上がっていました。ロバ隊長のぬいぐるみは、認知症サポーター養成講座や認知症啓発に利用しています。皆さんのお手元にも可愛らしいロバ隊長をお届けしたいと思います。



「ロバ隊長とは」認知症サポーターキャラバンのマスコットです。認知症サポーターの「キャラバン」(隊商)の隊長として「認知症になっても安心して暮らせるまちづくり」への道のりの先頭を歩いています。ロバのように急がず、しかし一歩一歩着実にキャラバンも進みます。



【オレンジDJカフェ】

長久寺×おくんがくるる】

9月29日(日)、認知症月間に合わせ「オレンジDJカフェ」が開催されました。このイベントは、地域に根ざした活動に積極的な長久寺、焼津市を盛り上げる音楽イベント「おくんがくるる」、焼津市キャラバン・メイトの共催により、幅広い年齢の方々に認知症のことを知ってもらうことを目的にしています。

会場の長久寺(田尻北)では、各種出店、音楽やダンスのステージ、認知症よくわかるた大会などが行われ、子どもから高齢の方まで幅広く、大勢の人たちでにぎわっていました。

今年のテーマは「人とつながり」。

「おくんがくるる」

の吉永百花さんは「このイベントを通じて、いろいろな世代の人がつながり、助け合い、いろいろな刺激を受けてもらえたらうれしいです。」と話してくださいました。



(左から)お〜んがくるるの吉永さん、チームオレンジコーディネーターの望月さん、長久寺の武藤住職



【発行】 焼津市 地域包括ケア推進課
各地域包括支援センター(北部・中部・南部・大井川)

第14号編集/大井川